

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (沖縄)	良く なっている	百貨店（営業企画）	来客数の動き	・消費税増税前の3月は客数では前年と変わらない推移だったが、売上で伸長した。4月はその反動で売上は前年を割れたが、改装効果により来客数は前年比5%アップした。今月は来客数で前年比8%アップし、売上は前年比3%アップしている。観光客増加の後押しもあり、外国人免税品の売上も額は小さいが、前年比で100%アップしている。
	やや良く なっている	一般小売店 [鞆・袋物]（経営者）	来客数の動き	・外国人観光客の来店が多くなっている。免税品の売上も伸びている。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・消費税増税後の反動が薄らいできている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・今月の客室稼働率は、前年同月実績を上回る見込みである。3か月前の稼働率は前年実績を下回る状況であったため、回復基調にある状況である。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・販売数が前年を大きく上回っており、好調を維持している。特に際立った商品は無く、最近始まった新料金プランの影響だとみられる。
		ゴルフ場（経営者）	販売量の動き	・若干の割引で、利用人数がかなり増えたような感じがする。
		その他のサービス [レンタカー]（営業担当）	来客数の動き	・予約件数が前年比で105%とやや良い状況にある。県外からの観光客の利用が好調である。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・個人住宅だけでなく、国道沿い等の商業施設関連の建築受注が増えている。
	変わらない	一般小売店 [菓子]	販売量の動き	・販売数量の総計は変わらないが、商品の単価が少し高めに動いている。
		スーパー（販売企画担当）	販売量の動き	・客数はマイナスだが、客単価が伸びている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・梅雨明けが遅く、飲料やアイス等の売上が前年に比べて大きく落ちている。天候に大きく左右されている。しかし、客単価は前年より上がっているため個人の購買意欲は変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・毎年この時期はあまり変わらない感じがする。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・来場客数の推移がほぼ前年通りである。
	やや悪く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年同月と比較して来客数が減少している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年より梅雨明けが遅く、気温も低めで、飲料、冷やし麺など夏物商品の動きが悪い。
		その他専門店 [書籍]（店長）	来客数の動き	・ここ3か月、売上がだんだん減少してきているのは間違いないが、それ以上に来客数の減少幅がひどく、何かしらの対策が急務である。
		旅行代理店（マネージャー）	来客数の動き	・出張などは増えているが、個人客は、旅行代金が全体的に上がったこともあり少々苦戦中である。
	悪く なっている	商店街（代表者）	単価の動き	・観光客のお陰で商店街の人通りはあるものの、客の財布のひもは固い状況であり、客単価は激減している。観光土産品等、同業者も多く仲間割れしているような感じもある。
		その他専門店 [楽器]（経営者）	販売量の動き	・通りの客数自体は増加しているが、本土からの観光客数は減少している。本土からの注文や問い合わせは、備品や消耗品などの安い商品であり、売上金額は前年を大きく下回っている。中国、韓国、台湾からの外国人観光客は日本のCD、音楽、楽器等には全然関心が無く売上につながらない。
その他飲食 [居酒屋]（経営者）		それ以外	・4月以降、平日の地元客の来客数が前年に比べ15%ほど落ちている。客を取り合うため、無理な低価格競争が続いている。原価上昇、人件費上昇で利益率が前年比63%に落ち苦しい状態が続いている。飲食業全体として一番の問題は求人難で、670円から1,000円まで時給を上げているが採用できない現状である。また、調理技術者を倍の給与で引き抜かれた例がある。少ないスタッフで過重労働になり、辞めていくという悪循環が続いている。	

企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築及びリフォームの契約件数が増加している。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・離島全体の需要が堅調ななか、那覇空港滑走路の増設工事の本格化で船舶の供給が非常にタイト化している。
	やや良く なっている	食料品製造業（総務）	取引先の様子	・食料品を中心に販売が上向きになっている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは前期繰越工事により前年比増加、民間向けは前年の反動で減少している。全体ではやや増加である。
	変わらない	輸送業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・沖縄向け貨物の物量は増えているとみられるが、それを受け入れるアセット、人員などのキャパシティが追い付いていない。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・仕事は確保できているが単価は低い。単価の低い仕事の受注は増えており、それに伴う増員も進んでいる。
やや悪く なっている	—	—	—	
悪く なっている	—	—	—	
雇用 関連 (沖縄)	良く なっている	—	—	—
	やや良く なっている	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・企業からの求人は、引き続き堅調である。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人、採用の少ない業種の求人が増えている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求職者数の動き	・ここ数年新卒採用をしていなかった企業からの求人が出てきている。
	変わらない	○	○	○
	やや悪く なっている	—	—	—
悪く なっている	—	—	—	